

## カリキュラム

ジュニアユースが考えを話し合い、道徳的にしっかりと心育てるための場を作ります。そのために開発されたシリーズです。すべての題材は言語能力と表現力を発達させることに関してです。

いくつかは数学のコンセプトや社会問題も扱っています。そして一方では、科学的な方法で身体的・社会的・精神的な本質を探究します。

このカリキュラムは世界中で使用されているものです。

### 確証のそよ風

ザンビアの William Mmutle Masetlha Foundation で作られました。

13歳になったばかりの女の子ムソンダと、学校のお休みで遊びに来ている年上のいとこローズのお話です。

お話を通してのテーマは努力をして神の確証を受け取ることです。わかりやすい文章で構成されていますが、難しい言葉の使用は避けられません。そのようなことばを別の文脈で使い、練習を通してそれらの意味を引き出し、単語力や読解力を高めます。  
適正年齢 11～12歳。



### まっすぐな道を歩む

物語は、昔からある世代から次の世代への道徳的な考えを伝えるためのものです。

その習慣を生かしマカオの the Badi Foundation は違う文化から20の話を集めることによって、この本を作りました。

それぞれの話は比較的短く、さらに、深い理解、語彙力、そして道徳的な思考力を高めるような練習が後にあります。暗記をするための短い引用文も用意されています。

適正年齢 13～14歳。



### 言葉の力を引き出す

コロンビアの Ruhi Foundation によって作られました。

表現力を高め、行動や発言に道徳的な意味を探し出すためのものです。20の話で成り立ち、それぞれが言語能力に関する練習によって補足されています。

話は簡単なものから始まりますが、考えや言葉の点両方で複雑さを増します。最初の話はアレグリアスという小さな町に住んでいるディエゴと彼のユースグループの紹介です。エリサというチューターの助けにより、グループは意味のある言葉や純粋な行動の力が社会の変化を成し遂げることについて考えます。  
適正年齢 14～15歳。



## ジュニアユース エンパワーメントグループ



### エンパワーメントとは・・・

#### 「潜在力を高めて強化する」

自立心を養い自分の考えや感性に自信を持ち、言動に責任を持てるようになること。そして影響力を持てるようになること。

12-15歳のジュニアユースの才能を発見し、積極的に彼ら自身を表現し、そして彼らの共同体を変革させるためにエンパワーメントとなるよう援助をします。

一般にジュニアユースといわれる 12~15 歳の数年間は人生のどの時期よりも成長し、身体的にも変化します。今まで教えられたことに疑問を持ち始め、身の回りにある矛盾に気づき始めます。この変化の時期、ジュニアユースはこれまで以上に質問の答え、特に哲学的な質問に対する答えを探しています。新しい意識が急激に啓発する年齢なのです。

このコースは、ジュニアユースたちが精神も知識も高められ、様々な書物が理解でき、言葉の力を引き出し、自分と社会の関わりについて考え、そして地域社会に貢献できるよう、構成されています。また、このコースを通じ、ジュニアユースたちはボランティアプロジェクトを立ち上げたり、地域社会へ貢献するために、様々な活動を行います。

## 活動

- ・ 奉仕活動
- ・ 芸術活動
- ・ 劇



- ・ ダンスパフォーマンス
- ・ 遠足
- ・ スポーツ・レクリエーション



## スケジュール

各グループで話し合っ決めていきます。

## 目的

- ・ ジュニアユースが奉仕をすることによって彼らの地域社会をより良くするために貢献することをエンパワーする。



- ・ はっきりとした発言や意味のある行動を通して建設的な判断をし、それらを表現すること。

- ・ 基本的な読解力を高めることを助け、考えを正確にはっきりと発言できるようになる。

- ・ 自分の意見を否定されることなく励ましあえる仲間を作ること。



## 引用文の例

『万人の利益のために、仲間と努力して奉仕する者は幸せである。』

『あなたの進む道で出会う人全てに対して、あなたの心を優しい愛情で燃え立たせなさい。』

『汝らは互いに愛情を示すために創られた。』

## アニメーター

このジュニアユースのグループを導いていく人たちは『アニメーター』といい、お兄さん・お姉さん目線で年齢の近い16~25歳までが効果的だといわれます。グループの友として、そしてよき理解者として導いていきます。

